

学校名 南城市立大里中学校	連絡先 TEL：098-945-2442 Eメール：oochu-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
------------------	--

## 1 実践事項（①または②）

- ②「特色ある取組」（カリキュラムマネジメント・ICTを活用した事例等・新学習指導要領に関連した実践等）

### 「新学習指導要領における学習評価の工夫・改善」

## 2 実践内容

- (1) 新学習指導要領における学習評価の工夫・改善
- (2) 島尻教育事務所教科総合訪問の取組
- (3) 授業改善の取組（一人一公開授業）
- (4) 配慮を必要とする生徒への指導と対応
- (5) その他の取組（①小中連携の取組②放課後補習の取組）

## 3 説明資料

### (1) 新学習指導要領における学習評価の工夫・改善

令和4年8月23日(火)の校内研修において、沖縄県立総合教育センター教科研修班の山城高雄指導主事をお招きし、「学習評価の工夫・改善」について講話を賜った。講話で山城指導主事は、学習評価の基本的な考え方や「主体的に学習に取り組む態度」の評価のポイントについて、数学科の事例をもとにお話しいただいた。また、主体的に学習に取り組む態度の評価については、評価ルーブリックを用いた評価方法に関する提案があり、講話の最後には、山城指導主事自身の数学の授業実践を紹介しながら、定期テスト作成に関する工夫・改善について提案もあった。



学習評価の基本的な考え方について



職員からの質問に答える山城指導主事



評価ルーブリックを用いた学習評価の提案

### 〔先生方の感想〕（一部抜粋）

- ・ 評価方法・内容に関しては、先生同士でしか共有していませんでした。今回の研修を通して、ルーブリック等を活用して、生徒にも共有して意識させる必要があると思いました。
- ・ 記録に残る評価や学びの足跡を実際に使って評価を行うとともに、自分のやり方を見極めながら自分流を固めていきたいと思いました。
- ・ 記録に残す評価、評価のルーブリックや評価の総括の着想など、とても勉強になりました。ルーブリックは、教科会などで話し合いたいと思います。
- ・ 評価に関して、きめ細かな準備が必要だと感じました。単元ごとの評価計画、ルーブリック的指標、記録に残すまたは残さないなど、これまで以上に工夫改善していきたいと感じました。そこに行き着くためには、問いが生まれる授業にしっかり取り組まなければとも思いました。

### （2）島尻教育事務所教科総合訪問の取組

令和4年9月13日(火)に島尻教育事務所教科総合訪問が行われた。国語、数学、英語、道徳の4教科で指導主事を招聘し代表授業を行い、学習評価の工夫・改善をテーマに各教科で授業研究会を行った後、全体会を行った。



3年国語 糸洲里南 教諭

#### 〔授業参観コメント〕島尻教育事務所：副田指導主事

- ワークシート、アドバイスの形、タブレットなどの準備がしっかりできているので、生徒の動きがスムーズであった。
- 教師が授業づくりに前向きであり、また、教科会等でも授業づくりについて話し合いがされ、授業改善の取組が行われている。
- 指導事項（評価規準）を明確にすることで、より良い授業づくりに繋げて欲しい。



2年数学 大村智子 教諭

#### 〔授業参観コメント〕島尻教育事務所：奥原指導主事

- GeoGebra（関数ソフト）やデジタル教科書、拡大用紙など効果的に活用していた。
- 授業の流れがわかる構造的な板書になっていた。
- 生徒の実態に即して、前学年の復習を入れるなど、学び直しも意識されていた。
- 教師の説明や指示が多いので、生徒に考えさせたいことを焦点化し、問いを引き出す発問を心がけて欲しい。



3年英語 大城マチ子 教諭

#### 〔授業参観コメント〕島尻教育事務所：宮良指導主事

- 生徒が協力してしっかり活動に取り組んでおり、学びに向かう姿が素晴らしかった。
- 学びの跡がしっかり板書に残されていた。
- 生徒と英語でやり取りすることを大切にしていた授業であった。
- 活動をさせる際の意義を明確にし取り組ませるために、言語活動→中間指導→言語活動を繰り返して、言語活動の充実を図ると、より良い授業づくりにつなげられる。



2年道徳 比嘉愛子 教諭

### 【授業参観コメント】島尻教育事務所：長門指導主事

- 学習指導要領から道徳的価値について考えさせたいことを焦点化し、具体的な授業のねらいを設定していた。
- 生徒のより良い意見を拾いにくいという課題を解決するためにタブレットを活用し、個々の考えを可視化して共有していた。
- Google Forms を使うことで発表が苦手な生徒も意見表示しやすく、考えの集約も素速くできていた。
- 生徒同士の話し合いを通した対話的な学びや、自分事として考えさせる場も取り入れると良い。

### (3) 授業改善の取組（一人一公開授業）

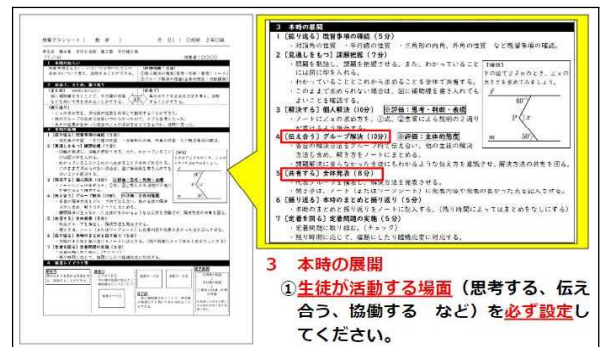
今年度の授業改善の取組（一人一公開授業）を組織的に進めるにあたり、次の点に留意して取組を推進した。

- ①全体会での共通確認（校内研修や職員会議等）
- ②教科会での実施計画作成および授業リフレクションの充実
- ③管理者による授業参観と振り返り

#### ①全体会での実施に関する共通確認

新職員が赴任した4月のタイミングで、今年度の一人一公開授業の進め方や指導案等（プランシート）の様式、授業後の提出物についての共通確認を行った。

本年度は授業の中で、生徒が活動する場面（思考する、伝え合う、協働するなど）を必ず設定してもらうよう依頼してプランシートを作成してもらった。



↑ プランシートの記入に関する留意点を確認

#### ②教科会での実施計画作成および授業リフレクションの充実

一人一公開授業の実施時期について、各教科会で話し合ってもらい、実施予定時期を研究主任で集約し、職員室内に掲示した。また、一人一公開授業後の活発な授業リフレクションに繋がってもらうため、時間割を調整して、同一教科の職員で授業参観を行ってもらった。

公開授業の実施日時を集約し、職員室内に掲示 →

一人一公開授業 予定一覧									
12月	授業者	教科	学年	日	曜日	校時	学年		
	赤嶺 直子 先生	国語	2	12月4日	木	3	2年5組		
	屋富 直 先生	数学	1						
	金城 真希 先生	理科	1						
	城間 光 先生	英語	2						
	金城 綾香 先生	英語	3						
	仲村 圭達 先生	通級	SST						
	座喜味美咲 先生	通級	対話						
	津田 創一 先生	理科	3	12月12日	木	4	3年1組		
	永山 隆介 先生	社会	2	12月12日	木	2	2年1組		
	宮良 孝 先生	社会	3	12月1日	木	2	3年6組		
	桃原 利弥 先生	数学	3						
	渡名喜 優 先生	体育	3	12月1日	木	5	3年3組		
	大城 拓矢 先生	技術	1	12月8日	木	4	1年4組		
実施日が決まり次第、係数まで連絡を！									

#### ③管理者による授業参観と振り返り

管理者による授業参観の後、校長だよりを通して授業の振り返りを行った。全職員に配布されるため、参観できなかった授業や他教科の実践を共有することができる。



#### (4) 配慮を必要とする生徒への指導と対応

令和4年6月30日(木)、8月22日(月)の2回の校内研修にわたり、上級教育カウンセラーで臨床心理士の仲村将義先生をお招きし、「個別対応のポイント～気になる子の理解と対応～」と題して講話を賜った。気になる生徒への支援の方法として、教育相談できるリレーションづくりや自己指導力育成面談の進め方について、教師役、生徒役に分かれて場面を設定し、ロールプレイを通じて研修を深めた。

また、研修の最後には、先生方の心の健康についても触れ、マインドフルネス簡便法（筋弛緩法や呼吸法など）を用いた気分転換の仕方についてもご講話いただいた。



講師の仲村将義先生



教師役、生徒役に分かれてロールプレイ



心の健康はマインドフルネスから

#### 〔先生方の感想〕（一部抜粋）

- ・今日の研修は生徒の立場に立って考えることが多くて、生徒の困り感について考え直すことができましたし、様々な角度から質問することで、どんな対応が良いのかをいろいろな視点から考えることができました。
- ・教師側の質問に対して、それなりの反応、返答はあったが、返答しない場面もあり得ることだと思う。そのような場面で落ち着いて対応できるようにしなければならないと思った。説教ではなく、常に傾聴の姿勢で対応していきたい。
- ・自己指導能力を育むための面談の進め方や解決志向アプローチの面談法をやってみて、生徒自身が自分のことをふり返って自分でどうするか考えることが大切だと思った。
- ・解決志向アプローチの面談法で、10段階からできている部分を引き出すこと、そして、+1を自分で見つけていく方法は普段の会話でも十分できることだなと思いました。

#### (5) その他の取組（①小中連携の取組②放課後補習の取組）

##### ①小中連携の取組

大里北小学校、大里南小学校で行われた校内研修に参加し、公開授業を参観した。（それぞれ数学科1名参加）

大里北小学校での算数研究授業のようす →



## ②放課後補習の取組

10月から毎週水曜日の放課後1時間程度、中学3年生希望者を対象に放課後補習を行っている。

内容は、学力調査フォローアッププリントや県立高校入試過去問題を中心に行っており、地域学習ボランティア「うふざとうぬ会」の先生方の協力を得、毎回20人前後の3年生が意欲的に取り組んでいる。

中学3年生を対象とした放課後補習のようす →



## 4 成果・課題・改善策

### (1) 成果

- 県立総合教育センター指導主事を招聘した理論研修において、「主体的に学習に取り組む態度」の評価のポイントや多様な視点からの学習評価について理解を深めることができた。
- 上級教育カウンセラーの先生を招聘した講話では、配慮が必要な生徒への個別対応のポイントなど、リレーションづくりや自己指導力育成面談の進め方について理解を深めることができた。
- 地域学習ボランティア「うふざとうぬ会」と連携した放課後補習の取組が定着しつつある。

### (2) 課題

- 一人一公開授業での授業参観者が少ないので、授業者以外への授業リフレクションの波及効果が低い。
- 授業と連動した毎日の宿題が形骸化しており、自学自習力を高める宿題としての効果が低い。

### (3) 改善策

- 学推担当、研究主任と教科主任間で授業改善の取組に関する定期的な意見交換会を設定し、授業リフレクション推進に関する共通認識を深め、教科会を通した授業改善の充実を図る。
- 次年度の週時程の変更に伴い、自学自習力の向上を念頭に置いた朝の自主活動時間の取組や、各教科の宿題の出し方など、次年度検討委員会で具体的な方策を検討する。